

平成29年度自己評価アンケート結果（上期）

| | | | |
|------------|---------|--|-----|
| 1 教育理念・目標 | 課題 | ・授業展開にて学生個々の能力差が埋められなかった ・卒業を目指せず途中退学、休学してしまう学生が複数いた ・教育理念、目標に到達できる人材の育成ができていない ・授業の進め方において課題が残った | ・卒 |
| | 今後の改善方法 | ・学生個々の達成感に繋げられる工夫が必要 ・授業の振り返りなどに工夫が必要 ・現在の学生の特色にあった理念、目標を検討し教職員間の意思統一を図る | |
| | 特記事項 | ・国試を意識している学生が多く、授業に国試ハウツーを望んでいる学生像が浮き上がった | |
| 2 学校運営 | 課題 | ・情報システムの構築整備が遅れている ・学校運営及び評価の結果は公表されていない ・運営方針が教員職員に対し明確になっていない | ・運 |
| | 今後の改善方法 | ・情報システム化による、ペーパーから電子媒体への移行とデータベース構築作業 ・学校評価を実施し教職員に周知するとともにホームページ等で公表していく ・理事会決定事項を教職員に公開し周知させる ・給与制度を明確にする ・業務の効率化を図っていく | ・学 |
| | 特記事項 | | |
| 3 教育活動 | 課題 | ・教員研修の不足 ・外部講師の評価 ・外部関係者評価 ・教員の質向上 ・第三者評価については、未到達 ・専任教員個々において授業、実習評価アンケートを実施し評価をしているが、組織の取組には、至っていない | |
| | 今後の改善方法 | ・教員研修の充実を図る ・外部講師含めた教員の評価体制づくり ・学校関係機関からの評価体制 ・現状では、自己評価を積み上げていくことを優先している ・教員の増員が必要 ・評価アンケートの実施を徹底し、学生の授業等への評価や生の声を情報共有し改善策を話し合う | |
| | 特記事項 | ・入学後、半年計がした時点でアンケートを行ったかどうか（面接では言えない事もあるのでは） 授業に関して予想と異なっていたこと・困っていることなどが拾えるのでは | |
| 4 学修成果 | 課題 | ・入学生の確保 ・国家試験合格率低迷 ・退学者を出さない ・卒業生の就業状況の把握 ・講義の中で思考力を鍛錬するしかけ作り ・卒業生の追跡調査が必要 ・卒業生の就業先での評価が全体的に把握できていないことで、教育内容にその評価を反映できない | |
| | 今後の改善方法 | ・外部（業者）の力も借りて意識付けを図る ・卒業生にアンケート調査を行い在学中に卒業後のキャリアの伝達 ・卒業時の学修成果を上げるには、入学時に学生をよく理解することから始め、学生個々の能力等を理解し教員間で共有し、指導内容等に反映させる ・学生個々の視点に立って個人にあった教授の仕方でも学生の力を伸ばし国試に繋げる ・実習が不得手で退学・休学者が出ている ・国試前の勉強時間を十分に確保する ・退学予想者への早期対応 ・ホームページを活用し既卒者へのアンケート協力を促す | |
| | 特記事項 | ・新卒者の早期離職防止のためのクラス会開催の継続 ・同窓会創立25周年記念祝賀会開催支援 ・入学後早い時期に前校での到達度を学生自らが自己評価等を行い、その後アンケートにて学生個々の状況を把握し共有する（入学時アンケートの改善など） | |
| 5 学生支援 | 課題 | ・学生への経済的支援は行っていない ・実習教材が古い ・准看学校との連携教育 ・自立した学生が多いので積極的な支援は行っていない ・学費滞納者の増加 ・既卒者に向けた個別的な支援は行っている | |
| | 今後の改善方法 | ・学生への経済的支援は検討課題として学校法人サイドにて検討する ・学的学費支援制度の導入 ・既卒者を含めた国試対策支援を行う ・他校とのキャリア教育、職業教育の取組を試みる ・実習教材の入替、購入 | ・公 |
| | 特記事項 | | |
| 6 教育環境 | 課題 | ・防災マニュアル作成 ・実習施設の多数拡散化による負担増（県内制限制度の限界） | |
| | 今後の改善方法 | ・長期的で集約的な実習施設の確保 | |
| | 特記事項 | | |
| 7 学生の受入募集 | 課題 | ・学生募集活動の不足感がある ・受験者の減少による定員割れ | |
| | 今後の改善方法 | ・積極的な准看学校の訪問 ・体験学習（看護体験入学、施設見学、在学生との懇談会など） ・看護協会など公的な団体からの支援を受けられるような体制づくり | ・看 |
| | 特記事項 | ・学生への経済的援助を検討 | |
| 8 財務 | 課題 | ・未実施であるが平成29年度より実施予定 ・財務情報公開の体制づくり | |
| | 今後の改善方法 | ・ホームページ上にて公開を目指す（29年8月公開） | |
| | 特記事項 | | |
| 9 法令等の遵守 | 課題 | ・法令順守されているのでこれを維持する ・自己評価の適切な導入・公開 | |
| | 今後の改善方法 | ・評価について検討し確実に実施する（29年度上期自己評価アンケート実施8月公開） | |
| | 特記事項 | | |
| 10 社会・地域貢献 | 課題 | ・地域との関係性の構築が未到達である ・学生のボランティア活動状況が把握できていない | ・地 |
| | 今後の改善方法 | ・地域の自治や一般事業所などへの学校情報の発信 ・地域イベントへのボランティア活動（学生等による救護室支援など） ・住民への講座開催など | ・地域 |
| | 特記事項 | ・狭山小学校の地域探検への協力 ・わかくさ（特別支援学校）実習生受け入れ | |

平成29年度上期自己評価（評価指標・観点等）

| 大項目 | 指標 | 中項目 | 小項目 | 評価基準資料 |
|-----------------------|---|---|---|--|
| 1. 教育理念 目的 人材育成 | ①理念・目的・育成人材像は定められているか ②学校に於ける職業教育の特色は何か ③社会ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ④理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・関係業界に周知されているか ⑤各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 1) 教育理念・目的 2) 人材育成像 | ・教育理念・目標の設定 ・時代、社会、学習者のニーズへの適合 ・定期的な点検と見直し ・教育理念・目標の教職員・学生などへの浸透方法、浸透度 | 1-① 適切 100.0% ほぼ適切 0.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 1-② 適切 60.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 1-③ 適切 20.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% 1-④ 適切 20.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% 1-⑤ 適切 80.0% ほぼ適切 0.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% |
| 2. 学校運営 | ①目的などに沿った運営方針が策定されているか ②事業方針に沿った運営方針が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は、規則などに於いて明確化されているか ④人事・給与に関する制度は整備されているか ⑤教務・財務等の意思決定システムは整備されているか ⑥教育活動の情報公開が適切になされているか ⑦情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 1) 役員組織 2) 理事会、評議員会 3) 寄附行為の整備と遵守 (学校の場合) 4) 人事・給与に関する制度は整備されているか 1) 事務組織 2) 意思決定機関 3) 諸規定の制定 4) 学則、細則、内規等の整備 5) 防犯対策 6) 個人情報の保護 7) セクシャルハラスメント対策 | ・理事会、評議員会の開催状況 ・寄附行為の定期的な点検と見直し ・事務組織の明確化 ・各会議の内容と適正さ ・諸規定の整備と見直しと届出 ・学則の整備と見直しと届出 ・防犯対策の整備（学生及び文書、備品等） ・個人情報保護法の遵守 ・相談窓口の設置と適切な対応 | 2-① 適切 40.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% 2-② 適切 40.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% 2-③ 適切 60.0% ほぼ適切 20.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% 2-④ 適切 60.0% ほぼ適切 20.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% 2-⑤ 適切 60.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 2-⑥ 適切 0.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 40.0% 不適切 0.0% 2-⑦ 適切 0.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 40.0% 不適切 20.0% |
| 3. 教育活動 | (目標の設定) ①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか ②教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか (教育方法・評価等) ③学科のカリキュラムは体系的に編成されているか ④キャリア教育・実践的な教育方法の工夫・開発などが実施されているか ⑤関連分野における実践的な実技・実習等が体系的に位置づけられているか ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか ⑦職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか (資格試験) ⑨資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか (教職員) ⑩人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ⑪関連分野における業界との連携に於いて教員の提供先を確保するためのマネジメントが行われているか ⑫先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取り組みが行われているか ⑬教員の能力開発のための研修などが行われているか | 1) 学科科目の授業内容 2) 実技科目の授業内容 3) 実習の内容 4) カリキュラム以外の教育 (教育の方法) 1) シラバス 2) 授業研究 (教育の評価) 成績基準など (成績評価) 1) 定期試験、単位認定等に対する評価方法 2) 卒業・進級試験に対する評価方法 (資格試験) 1) 対策方法 2) 合格率 (教員の組織) 1) 専任教員と非常勤講師の人数割合 2) 教員の年齢構成 3) 担当教科と各自の時間数 4) 業務分掌 5) 採用方法と人事考査 6) 教員の資質向上 (職員の組織) 1) 事務分掌 2) 採用方法と人事考査 3) 職員の資質向上 4) 産業界との連携による教育活動の体制整備 | ・教育理念、目標の反映 ・カリキュラムの構成 ・カリキュラムに対する学生の評価 定期的な点検及び見直し ・シラバス学生への提示状況 ・学生の授業評価とその反映 ・成績不良者への対応 ・学則、細則、内規に準拠した評価 ・各成績判定者の審査基準、意思の統一 ・評価の客観性・妥当性・信頼性・公平性 ・問題点の把握 ・不合格者への対応 ・1人当たりの担当授業時間数の点検 ・定期的な人事考査の実施 ・教員の教育能力開発への取組 ・定期的な人事考査の実施（報告、連絡、相談） ・職員の数、年齢構成、担当業務のバランス | 3-① 適切 60.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 3-② 適切 100.0% ほぼ適切 0.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 3-③ 適切 60.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 3-④ 適切 20.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% 3-⑤ 適切 60.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 3-⑥ 適切 40.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 3-⑦ 適切 0.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 40.0% 不適切 20.0% 3-⑧ 適切 80.0% ほぼ適切 20.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 3-⑨ 適切 40.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 3-⑩ 適切 20.0% ほぼ適切 80.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 3-⑪ 適切 0.0% ほぼ適切 20.0% やや不適切 80.0% 不適切 0.0% 3-⑫ 適切 20.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% 3-⑬ 適切 0.0% ほぼ適切 80.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% |
| 4. 学習成果 | ①資格取得率の向上が図られているか ②退学・休学率の低減が図られているか ③卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ④卒業後のキャリア形成への効果を把握し教育活動の改善に活用されているか | (入学者の状況) 1) 就職率の推移 2) 資格取得率・推移 (中途退学者の状況) 1) 学科、学年別退学者の推移 2) 過去の月別退学者状況 3) 理由別退学者の状況 | ・資格取得、中退予防などの取組が適切か 動向分析 | 4-① 適切 0.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 60.0% 不適切 0.0% 4-② 適切 20.0% ほぼ適切 20.0% やや不適切 60.0% 不適切 0.0% 4-③ 適切 0.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 40.0% 不適切 0.0% 4-④ 適切 0.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 60.0% 不適切 0.0% |
| 5. 学生支援 | ①学生相談に関する体制は整備されているか ②学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ③学生の健康管理を担う組織体制はあるか ④学生の生活環境への支援は行われているか ⑤卒業生への支援体制はあるか ⑥関連分野における業界との連携による卒業後の再教育プログラムを行っているか ⑦社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ⑧高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | (進路・就職対策) 1) 進路指導 2) 進路状況（進学など） (経済支援・健康管理) 1) 奨学金 2) 学生寮 3) 健康診断 (卒業生・社会人への支援対策) 1) 再教育・相談 | ・カウンセラーによる学生相談室の設置 ・相談内容によるカウンセラーと教職員との連携 ・奨学金制度の整備 ・定期健康診断の実施及び受診項目 ・卒業生へのフォローアップ状況 | 5-① 適切 40.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 5-② 適切 20.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 40.0% 不適切 0.0% 5-③ 適切 100.0% ほぼ適切 0.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 5-④ 適切 40.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 5-⑤ 適切 80.0% ほぼ適切 20.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 5-⑥ 適切 0.0% ほぼ適切 20.0% やや不適切 20.0% 不適切 60.0% 5-⑦ 適切 40.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% 5-⑧ 適切 0.0% ほぼ適切 0.0% やや不適切 40.0% 不適切 60.0% |
| 6. 教育環境 | ①施設設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②学内外の実習施設等について十分な教育体制を整備しているか ③防災に対する体制は整備されているか | (危険管理と危機管理) 1) 学生の問題行動 2) 実習中等の事故 3) 防災対策 | ・職員、学生への周知徹底 ・防災訓練の実施 | 6-① 適切 40.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 6-② 適切 40.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 6-③ 適切 60.0% ほぼ適切 0.0% やや不適切 40.0% 不適切 0.0% |
| 7. 生徒募集 | ①対象機関に対する情報提供等の取組を行っているか ②生徒募集活動は、適正に行われているか ③学生納付金は妥当なものとなっているか | (学生募集広報) 1) 活動時期 2) 活動方法並びに状況 3) 効果と実績 | | 7-① 適切 100.0% ほぼ適切 0.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 7-② 適切 80.0% ほぼ適切 0.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% 7-③ 適切 80.0% ほぼ適切 20.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% |
| 8. 財務 | ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③財務について会計監査が適正に行われているか ④財務情報公開の体制整備はできているか | | | 8-① 適切 0.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 40.0% 不適切 0.0% 8-② 適切 40.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 8-③ 適切 100.0% ほぼ適切 0.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 8-④ 適切 0.0% ほぼ適切 80.0% やや不適切 20.0% 不適切 0.0% |
| 9. 法令等の遵守 | ①法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護の対策はとられているか ③自己評価の実施と問題の改善に努めているか ④自己評価結果を公開しているか | | | 9-① 適切 100.0% ほぼ適切 0.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 9-② 適切 80.0% ほぼ適切 20.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 9-③ 適切 20.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 40.0% 不適切 0.0% 9-④ 適切 0.0% ほぼ適切 20.0% やや不適切 80.0% 不適切 0.0% |
| 10. 社会貢献 地域貢献 | ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか | (社会貢献等の取組) 1) 活動への支援状況 2) 公開講座・教育訓練 | ・活動への支援体制 ・公開講座・教育訓練の実施状況 | 10-① 適切 40.0% ほぼ適切 60.0% やや不適切 0.0% 不適切 0.0% 10-② 適切 60.0% ほぼ適切 0.0% やや不適切 20.0% 不適切 20.0% 10-③ 適切 20.0% ほぼ適切 40.0% やや不適切 40.0% 不適切 0.0% |

適切 41.5% ほぼ適切 35.9% ほぼ不適切の割合 19.3% 不適切 3.3%

